

学長メッセージ

4月からの新型コロナウイルス感染対応について

2023年4月3日

学長 星 文彦

新型コロナウイルスが感染症法上、5類に移行するなど社会状況の変化が見えてきた今、埼玉県においては感染小康期の状況とされています。学内の警戒レベルは「2」を維持し、マスクの着用は推奨とします。特に演習や実技実習などで飛沫による感染リスクが高いと判断される場合はマスクの着用をお願いします。

本学は、保健医療福祉領域の専門職を育成する大学として、一般社会の感染対策よりも一段階慎重な判断をしています。

感染拡大から約4年、2年生から4年生の皆さんには、この間感染予防行動を厳格に遂行して頂き、学内でのクラスターの発生を未然に防ぐことが出来ました。皆さんの保健医療福祉を学ぶ者としての自覚と行動に敬意と感謝を表します。新型コロナウイルス感染からの開放に向けて引き続き協力をお願いします。

新入生の皆さんは、本学の学生として、はじめに行うべきことは、新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを熟読し、新型コロナウイルス感染症の科学的根拠に基づく正しい理解と感染予防行動を実行することです。協力をよろしくお願いします。

保健センターから、新型コロナ感染症対策啓発動画“New Normal” with CORONA (2023年4月改訂第7版)がアップロードされています。必ず視聴してください。

4月からの学内活動について、要点を列記します。

1. 風邪様の症状による公欠の取り扱いを継続する。
2. サークル活動等ではマスク着用を推奨する。宿泊を伴う活動を解禁する。
3. 情報センターは、座席の間引きや来館時の受付は終了するが、学外者利用者の制限は継続する。
4. 食堂の座席の間引きやパーテーションの設置は継続する。
5. 感染拡大に最大限の配慮をして学内活動を実施する。

この4年間における私たちの対応経験を踏まえ、感染予防行動を引き続き徹底した上で、大学生活の場、「SPU学習コミュニティ」の再建を目指します。

「ウイズコロナ」を踏まえた、いわゆる「ニューノーマル」な大学生活の実現に向け、保健医療福祉を学ぶ学生としての自覚と勇気をもって、次のステップに共に力を合わせて進んで行きましょう。